

令和6年度 入学試験要項

学校推薦型選抜 総合型選抜

各入学試験の実施内容を変更する場合があります。

変更する場合は決定次第、本学ホームページ等で周知しますのでご注意ください。

〔個人情報の取り扱いについて〕

本学は、提出していただいた書類の情報につきまして、重要な個人情報として十分留意し取り扱います。

なお、業務の必要上、入学試験の受付および実施に関わる業務の一部を第三者に委託する場合があります。この場合、機密保持契約の締結等により、個人情報が不適切に取り扱われないように、委託先を管理します。

また、出願書類に記載していただいた連絡先や、証明書等の発行元に、内容確認等のため連絡する場合がありますので、ご了承ください。

出願書類（本学所定書式）は各入試形態のページからダウンロードできます

目次 (Contents)

【募集学科 早見表】

営：経営学部 経営学科

ホ：経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科

デ：経営学部 データサイエンス学科

済：経済学部 経済学科

法：法学部 法律学科

国：国際関係学部 国際関係学科

多：国際関係学部 多文化コミュニケーション学科

都：都市創造学部 都市創造学科

卒業認定・学位授与の方針／入学者受入れの方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大学		<p>亜細亜大学（以下「本学」という。）は、教育理念「多様な夢に挑戦し、アジアの未来に飛躍する人材を育成する」及び、それを具体化した「教育の基本方針」（*）に基づき、建学の精神「自助協力」を体得し、各学部の学位プログラムを修め、厳格な成績評価のもと、卒業に必要な単位を修得し、各自の「個性値」を伸ばし、次のような能力を身につけた学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い教養と高度な専門知識・技能を身につけ、柔軟に活用できる。 2. グローバルな視点から世界の諸文化を理解し、その多様性を尊重できる。 3. 他者と協力して、より良い社会の形成に能動的に貢献できる。 4. 目標を定め、自らのキャリアを形成し、生涯にわたって学びの姿勢を継続できる。 <p>*「教育の基本方針」とは「国際社会で貢献できる有為な人材の育成」「人間性重視の教育」「新しい社会を創り出す創造力あふれる人材の育成」の三つです。</p>
経営学部	経営学科	<p>経営学部経営学科（以下「本学科」という。）の教育課程において所定の単位を修得し、広い意味での「実学」、すなわち、経営学の専門知識とその実践的活用を通してマネジメントを行う能力を修得した学生に学位を授与します。具体的には、本学のディプロマ・ポリシーに加えてさらに次のような能力を修得した学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業や社会のしくみやあり方に関心を持ち、経営・会計・マーケティング領域を中心とした専門知識とともに幅広い教養を身につけ、ものごとを総合的に判断できる。 2. グローバルな環境において多様性の尊重と共感を念頭にコミュニケーションできる。 3. 情報リテラシーや数量的分析技術を身につけ、実践的に活用することにより問題の発見や解決に向け、能動的に社会に貢献できる。 4. 経営学ならびにマネジメント能力は理論と実践により培われることを自覚し、自らのキャリア形成に努めるとともに生涯にわたって学びの姿勢を継続できる。
	ホスピタリティ・マネジメント学科	<p>経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科（以下「本学科」という。）の教育課程において所定の単位を修得し、ホスピタリティ・ビジネスやスポーツホスピタリティ・ビジネスに関する専門知識と技能を身につけ、実務の遂行力+マネジメント能力+ホスピタリティマインドの3つの能力を修得した学生に学位を授与します。具体的には、本学のディプロマ・ポリシーに加えて、次のような能力を修得した学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホスピタリティ及びスポーツホスピタリティ・ビジネスの実務現場において、即戦力となる高度な専門知識と技能及び幅広い教養を修得し活用できる。（知識・理解） 2. 経営学・会計学・マーケティング等のマネジメントの知識と技能及びホスピタリティマインドを有し活用できる。（思考・判断・技能・表現） 3. グローバルな視点から高いコミュニケーション能力を有し、かつ多様な文化を尊重し、広く国際社会に貢献できる。（関心・意欲・態度・表現）
	データサイエンス学科	<p>経営学部データサイエンス学科（以下「本学科」という。）の教育課程において所定の単位を修得し、本学のディプロマ・ポリシーに加えてさらに次のような能力を修得した学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報技術と社会の関わりや古典的自然科学の基本的理解と、数理・データサイエンス・AIを原理から理解できる数学・統計学の基礎力を持ち、研究テーマの課題解決に活用できる者 2. AI・機械学習に関して、データ収集と実装を実行できるプログラミングの基礎的力量、ディープラーニングの事業活用を提案できる基礎知識、将来的にこれらの業務を英語で行える英語の基礎力を持ち、研究テーマの課題解決に活用できる者 3. 未知のデータから新たな知見を引き出し実社会の問題解決に結びつけるマインドを持ち、研究テーマの課題解決に活用できる者 4. 企業経営やビジネスに関する基礎的な知識を有し、卒業研究のテーマの課題背景の理解並びに研究成果の現場への実装あるいは実践に関して洞察できる者
経済学部	経済学科	<p>経済学部（以下「本学部」という。）の教育課程において、所定の単位を修得し、以下のような能力を身につけた学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済社会の直面する経済問題を発見し、解決するために必要な経済学の基本的な知識と分析ツールを身につけている。 2. グローバルな視点を含めて、さまざまな視点から経済社会を総合的に理解するために必要な社会科学の幅広い知識と教養を身につけている。 3. アジアを始めとする国際社会の一員として、直面する課題に積極的に取り組む能力を身につけている。 4. 他者を尊重しつつ自分の考えを表明し、周囲とコミュニケーションできる能力を身につけている。
法学部	法律学科	<p>法学部（以下「本学部」という。）は、本学部の学位プログラムを修め、厳格な成績評価のもと、卒業に必要な単位を修得し、次のような能力を身につけた学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法学・政治学の基礎知識を習得し、法的・政治的な問題点を発見する能力を有している。 2. 論理的な思考力・構成力を基に、合理的かつ適正な手続過程によって問題を解決する能力を有している。 3. 正義・自由・平等といった法的・政治的な感覚を体得している。 4. 立場の異なる者の主張する諸利益を的確に衡量し、バランス感覚に富んだ判断をする能力を有している。 5. 自己の主張を他者に対して説明し説得する能力など、自ら積極的に社会参加できる資質を有している。
国際関係学部	国際関係学科	<p>国際関係学部国際関係学科（以下「本学科」という。）は、建学の精神「自助協力」に基づき、国際社会の平和と発展に貢献する人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、以下の要件を満たす学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 政治・法律・経済・社会にわたる社会科学諸領域の基礎知識を修得している。 2. この基礎知識を応用し国際社会の諸問題を考察することを通じて、国際関係への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている。 3. 一定水準の英語運用能力を備えている。 4. 国際社会の一員としての倫理観を持ち、国際社会の平和と協力促進のために自ら積極的に貢献する姿勢を有している。
	多文化コミュニケーション学科	<p>国際関係学部多文化コミュニケーション学科（以下「本学科」という。）は、建学の精神「自助協力」に基づき、アジアをはじめとする世界諸地域における多文化間の交流と対話を促進できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、以下の要件を満たす学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国境を越える多文化間交流の歴史と現状について基礎知識を修得している。 2. 一定水準の英語力及びアジア諸言語能力を備えている。また、これを基礎に、多様な文化背景を持つ人々をつなぐコミュニケーション能力を身につけている。 3. 多様な文化の現場での実地調査及び調査結果の分析・報告を通じて、多文化間交流への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている。 4. 文化の相互尊重の理念に立って、多文化間の交流と対話を促進する積極的な姿勢を有している。
都市創造学部	都市創造学科	<p>都市創造学部（以下「本学部」という。）では、本学の課程を修め、必要な条件を充足し、かつ124単位を修得したうえで、アジア融合の視点にたった教養と都市創造学に関する専門知識・技能を修得し、次のような能力・資質を備えた人物に学位「学士（都市創造学）」を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大きな3つの学びの領域「国際都市と留学」、「都市とビジネス」、「都市と社会」と関連づけながら、幅広い教養と社会学・経営学・ICTに関する高度な専門知識を身につけ、都市創造を理解している。 2. 大きな3つの学びの領域と交わる都市の魅力や課題について、社会学・経営学・ICTの知識を用いて考察できる。 3. 3つの学びを基礎に、アジア融合の視点から社会学・経営学・ICTの知識を、都市の魅力や課題解決策の開発に応用することができる。 4. 他者と協力して、より良い都市の創造に能動的に貢献できる。 5. 目標を定め、自らのキャリアを体験的に形成し、生涯にわたって学ぶ姿勢を継続できる。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

大学	<p>本学は、ディプロマ・ポリシーで述べたような知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、以下のような人が国内外から本学に入学してくることを期待しています。特に、本学の教育理念「多様な夢に挑戦し、アジアの未来に飛躍する人材を育成する」に共感し、建学の精神「自助協力」を体得しようとする志（こころざし）を持つ人を歓迎します。</p> <p>そのために各学部学科において多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 希望する学部学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得している。 2. 身の回りの社会的現象から、自ら問題を発見し、自ら考え、自ら判断し、説明することができる。 3. 本学で学ぶ4年間で、自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持つ。 4. 多様な社会・文化について関心を持ち、多様な価値観を持つ人々と協働する積極性と、異なる意見に耳を傾ける柔軟性を有する。 5. 大学で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会のために活かしたいという意欲がある。
経営学部	<p>本学は、ディプロマ・ポリシーで述べたような知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、ビジネス社会への関心が高く、グローバルな環境で活躍することや将来広くビジネス社会で働くことを希望している、次のような人を求めます。そのために、多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得している。 2. 高等学校における学習を通じて、論理的思考力、コミュニケーション能力を身につけている。 3. 高等学校において資格・技能を獲得するなどさまざまな活動に参加しており、本学科で学ぶ4年間で自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持って多様な活動に積極的に参加できる。 4. 多様な社会・文化について関心を持ち、多様な価値観を持つ人々と協働する積極性と、異なる意見に耳を傾ける柔軟性を有する。 5. 本学科で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会と自己のキャリア形成に活かしたいという意欲がある。
経営学部	<p>本学は、ディプロマ・ポリシーで述べたような知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、ホスピタリティ・ビジネス、スポーツホスピタリティ・ビジネスへの深い興味と関心を持ち、将来はホスピタリティ・ビジネス、スポーツホスピタリティ・ビジネスに従事したいという明確な目的意識を有する次のような人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学科の教育内容が理解できるように高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得し、大学生活においてさまざまな活動にも積極的に参加する意欲がある。 2. ホスピタリティ・ビジネスやスポーツホスピタリティ・ビジネスに深い興味と関心を有する。 3. 将来ホスピタリティ・ビジネスやスポーツホスピタリティ・ビジネスに従事したいという明確な目的意識を有する。 4. 学習意欲、探究心、チャレンジ精神、自発性、協調性、及び不屈の精神を有する。 5. 人と接することが好きで、ホスピタリティマインドの要素、論理的思考力、コミュニケーション能力を有する。 6. 将来のキャリアに対する明確な目的意識や意欲、適性を持つ。 7. 本学科で学ぶ知識、技能、態度、体験を社会のために活かしたいという意欲がある。
経営学部	<p>本学は、ディプロマ・ポリシーで述べたような知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、次のような人を求めます。そのために、多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データサイエンスの学修に不可欠な基礎的な数学力と、論理的な思考力を有する。 2. 企業や社会での課題発見と課題解決に意欲的に取り組める。 3. 多様な人々とのコミュニケーションや協働を積極的に進められる。 4. 高度情報技術社会の進展に関して、高い倫理と強い興味を有して挑戦できる。
経済学部	<p>本学部は、経済及び社会の諸問題、その原因や対策、歴史などに対する強い関心を持ち、経済学と幅広い知識を獲得しようとする高い勉強意欲を持ち、将来の日本と世界の経済社会を担う意欲を持つ人を広く求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済や社会の諸現象を分析し、理解するための基礎学力（国語・英語など）と一般教養を十分に修得している。 2. 経済や社会に関する事柄の報告や討論について、基本的な理解力・伝達力を身につけている。 3. 経済学を中心とした幅広い知識の獲得を通して、自らを成長させたいという目的意識を持つ。 4. 経済や社会の諸現象について、自主的に多様な視点から考える姿勢がある。 5. 経済や社会の諸現象の問題解決に自ら取り組んでみようという意欲がある。
法学部	<p>本学部は、ディプロマ・ポリシーで挙げた知識・能力・態度を持つ人材を育成するために、次のような資質を持った人が、広く全国から、またアジアを中心に世界各国から入学してくることを期待しています。特に、本学部の伝統を理解し、これを未来に伝えるときともに、未知への挑戦を恐れず、新たな伝統を形成する積極性を持つ人を歓迎します。</p> <p>そのために、多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法学部の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程における国語や外国語（英語）、地理歴史、公民などの基礎的な学力を修得している。 2. わが国の法や政治に関心を有し、本学部で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会のために活かしたいという意欲がある。 3. 学業のみならず、幅広い経験を通じて、社会の出来事から問題を発見し、自ら思考、判断し、行動へと結びつけることができる。 4. 社会・公共への広い関心を有し、自分と異なる意見にも耳を傾け、対話することのできる柔軟な精神を持っている。 5. 本学部で学ぶ4年間で、自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持つ。
国際関係学部	<p>本学科では、ディプロマ・ポリシーに示されるような人材を育成するために、以下のような人が広く国内外から本学科に入学することを期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際社会の動向に強い関心を持っている。 2. 社会科学を学ぶにあたっての前提となる知識、特に地歴・公民に属する科目をしっかりと学習している。 3. 報告、討論、レポート作成に必要な日本語能力を身につけている。 4. 英語を、読み、書き、聞き、話す基礎的な能力を身につけている。 5. 外国語、特に英語の学習に高い意欲を持ち、将来国際的な職種での活躍を希望している。 6. 本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程を通じて基礎的な知識・技能を修得している。 7. 多様な価値観を尊重する態度を身につけ、明確な目的意識を持って積極的かつ主体的に学びを深めていこうとする姿勢を有する。
国際関係学部	<p>本学科では、ディプロマ・ポリシーに示されるような人材を育成するために、以下のような人が広く国内外から本学科に入学することを期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アジアをはじめ世界各国の社会・文化・言語に、そして多文化間交流に強い関心を持っている。 2. 多文化間交流を学ぶにあたっての前提となる知識、特に地歴・公民に属する科目をしっかりと学習している。 3. 報告、討論、レポート作成に必要な日本語能力を身につけている。 4. 英語を、読み、書き、聞き、話す基礎的な能力を身につけている。 5. 英語及びアジア諸言語の学習に高い意欲を持ち、将来国際的な職種での活躍を希望している。 6. 本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程を通じて基礎的な知識・技能を修得している。 7. 多様な価値観を尊重する態度を身につけ、明確な目的意識を持って積極的かつ主体的に学びを深めていこうとする姿勢を有する。
都市創造学部	<p>本学部は、ディプロマ・ポリシーに示した知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、次に掲げる人材を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 都市創造学部都市創造学科での教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得していること。 2. 都市の魅力や課題について、自ら問題を発見し、自ら考え、自ら判断し、説明することができる。 3. 都市創造学部都市創造学科で学ぶ4年間で、自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持つ。 4. 都市の特徴について関心を持ち、多様な価値観を持つ人々と協働する積極性と、異なる意見に耳を傾ける柔軟性を有する。 5. 都市創造学部都市創造学科で学ぶ知識・技能・態度・体験を都市の創造のために活かしたいという意欲がある。

学校推薦型選抜・総合型選抜 入学試験要項

入試日程一覧

入試形態 募集学科 ^{※1}	出願期間 (締切日消印有効)	試験日	合格発表	入学手続 ^{※2} (第1次手続期間)	入学手続 ^{※2} (第2次手続期間)
公募推薦入試 営 デ 済 法 国 多 都	令和5年11月1日(水) ～ 11月6日(月)	11月26日(日)	12月4日(月)	12月4日(月) ～ 12月12日(火)	令和6年1月15日(月) ～ 1月25日(木)
総合型選抜入試 営 デ 済 法 国 多 都	令和5年9月25日(月) ～ 10月3日(火)	10月22日(日)	11月1日(水)	11月1日(水) ～ 11月10日(金)	
ホスピタリティ AO入試 ホ		1次審査 10月22日(日)	1次審査 11月1日(水)	11月28日(火) ～ 12月12日(火)	
ホスピタリティ入試 ホ	令和5年10月19日(木) ～ 10月26日(木)	11月18日(土)	11月28日(火)		
グローバル人材育成入試 ホ 国 多 都	令和5年9月25日(月) ～ 10月3日(火)	10月22日(日)	11月1日(水)	11月1日(水) ～ 11月10日(金)	
スポーツ・文化活動入試 I期 営 済 法 国 多 都	令和5年10月23日(月) ～ 10月31日(火)	11月26日(日)	12月4日(月)	12月4日(月) ～ 12月12日(火)	
スポーツ・文化活動入試 II期 営 済 法 国 多 都	令和6年1月6日(土) ～ 1月12日(金)	2月5日(月)	2月12日(月・祝)	一括 2月12日(月・祝) ～ 2月17日(土)	

◆全ての入試形態は、本学（武蔵野キャンパス）で試験を実施します。

※1 募集学科の詳細は、1ページの「募集学科早見表」を参照してください。

※2 入学手続の第1次手続では入学金の納入と入学手続書類の本学への送付および〈あじばこ〉上での入学手続入力、第2次手続では入学金を除く学校納入金（春学期分もしくは年額のいずれか）を納入していただきます。
一括手続では、入学金を含む学校納入金（春学期分もしくは年額分のいずれか）の納入と入学手続書類の本学への送付、〈あじばこ〉上での入学手続を入力していただきます。

公募推薦入試

募集人員	経営学部 経営学科……………25名〔左記のうち商業系課程5名〕 経営学部 データサイエンス学科……………7名 経済学部 経済学科……………20名 法学部 法律学科……………20名 国際関係学部 国際関係学科……………10名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科……………10名 都市創造学部 都市創造学科……………25名			
求める学生像	高等学校において、一定の学業成績を修め、校内におけるさまざまな活動(生徒会活動・課外活動)にも積極的に参加するなど、充実した高等学校生活を送ってきた者			
出願資格	●次の条件をすべて満たし、高等学校長が推薦する者 (1)令和6年3月高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者 (2)本学への入学を第1希望とする者 (3)調査書の全体の学習成績の状況が3.2以上の者 ※ただし、データサイエンス学科については、調査書の全体の学習成績の状況が3.2以上かつ数学の学習成績の状況が3.5以上の者とする			
選抜方法	(1)面接 (2)書類審査 以上(1)(2)の総合評価により、合否を判定する			
出願期間	令和5年11月1日(水)～11月6日(月) ※出願書類の郵送は締切日消印有効			
入学検定料	32,000円(16～18ページを参照し、出願期間内に納入してください)			
試験日	令和5年11月26日(日)			
試験時間割	<table border="1"> <tr> <td>集合 9:15</td> <td>▶</td> <td>面接 9:45～</td> </tr> </table>	集合 9:15	▶	面接 9:45～
集合 9:15	▶	面接 9:45～		
試験会場	本学			
合格発表	令和5年12月4日(月)(22ページ参照)			

※出願書類は次ページを参照してください。

出願書類	
ネット出願確認票	16~17ページを参照して、ネット出願登録後、必ず印刷をしてください。
調査書	高等学校長が作成したものを提出してください。 ※必ず厳封されたものを提出してください。
公募推薦入試推薦書	高等学校長が作成したものを提出してください。 (左記の出願書類名からダウンロードし、A4サイズ用の紙に記載したものを使用してください) ※必ず厳封されたものを提出してください。
公募推薦入試 活動状況等報告書 ^{注1}	推薦書記載責任者が作成したものを提出してください。 (左記の出願書類名からダウンロードし、A4サイズ用の紙に印刷したものを使用してください) ※必ず厳封されたものを提出してください。
自己推薦書	本人自筆で作成したものを提出してください。枚数の制限はありません。 (左記の出願書類名からダウンロードし、A4サイズ用の紙に印刷したものを使用してください。全2枚) ※経営学部データサイエンス学科志願者は提出する必要はありません。
経営学部データサイエンス学科 志望理由・事前課題 記入用紙	本人自筆でそれぞれ800字以内で作成したものを提出してください。 (左記の出願書類名からダウンロードし、A4サイズ用の紙に印刷したものを使用してください。全3枚) ※経営学部データサイエンス学科のみ提出してください。

注1：新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた活動に参加できず、その結果を高等学校等の諸活動の実績や成績として記載できないことがあれば、[こちら](#)から書類をダウンロードし、本人自筆で作成し、提出してください。

総合型選抜入試

募集人員	経営学部 経営学科……………15名 経営学部 データサイエンス学科……………7名 経済学部 経済学科……………10名 法学部 法律学科……………20名 国際関係学部 国際関係学科……………10名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科……………10名 都市創造学部 都市創造学科……………5名						
求める学生像	高等学校や社会での生活または活動を通じて得られた経験や技能などを有しており、本学の三つのポリシーを理解し、本学への入学意思および学修意欲が明確な者						
出願資格	●次のいずれかの条件に該当する者 (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和6年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和6年3月までに修了見込みの者 (3)高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定合格者含む）および令和6年3月31日までに合格見込みの者 (4)日本国籍を有し、外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和6年3月までに修了見込みの者で令和6年3月31日までに18歳に達する者 (5)文部科学大臣が指定した在外教育施設の課程を修了した者および令和6年3月までに修了見込みの者						
選抜方法	(1)面接(事前課題に関する口頭試問含む) (2)書類審査 (3)事前課題 以上(1)～(3)の総合評価により、合否を判定する						
出願期間	令和5年9月25日(月)～10月3日(火) ※出願書類の郵送は締切日消印有効						
入学検定料	32,000円(16～18ページを参照し、出願期間内に納入してください)						
試験日	令和5年10月22日(日)						
試験時間割	<table border="1"> <tr> <td>集合</td> <td>▶</td> <td>面接</td> </tr> <tr> <td>9:15</td> <td></td> <td>9:45～</td> </tr> </table>	集合	▶	面接	9:15		9:45～
集合	▶	面接					
9:15		9:45～					
試験会場	本学						
合格発表	令和5年11月1日(水)(22ページ参照)						

※出願書類は次ページを参照してください。

出願書類

ネット出願確認票

16～17ページを参照して、ネット出願登録後、必ず印刷をしてください。

出願資格
を証明する
書類

※いずれか自身の
出願資格を証明
できる書類を提
出すること。

出願資格

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和6年3月までに卒業見込みの者
- (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和6年3月までに修了見込みの者
- (5)文部科学大臣が指定した在外教育施設の課程を修了した者および令和6年3月までに修了見込みの者
- (3)高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定合格者含む）および令和6年3月31日までに合格見込みの者
- (4)日本国籍を有し、外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和6年3月までに修了見込みの者で令和6年3月31日までに18歳に達する者

出願書類

● 調査書

学校長が作成したものを提出してください。
※必ず厳封されたものを提出してください。

● 合格(見込)成績証明書

文部科学大臣が行う高等学校卒業認定試験の合格（見込）成績証明書を提出してください。
※必ず厳封されたものを提出してください。

● 卒業(見込)証明書

● 成績証明書

成績証明書は各学年度別の成績が記載されているものを提出すること。
日本の高等学校に在籍した期間がある場合は、在籍期間の成績証明書と調査書等も併せて提出すること。

総合型選抜入試
自己アピールシート

本人自筆で作成したものを提出してください。
(左記の出願書類名からダウンロードし、A4サイズ用の紙に印刷したものを使用してください。全3枚)

総合型選抜入試
事前課題
記入用紙

本人自筆で作成したものを提出してください。
事前課題は左記書類名から確認してください。(全4枚)出願する学部学科の課題のみ提出してください。
(左記の出願書類名から記入用紙をダウンロードし、A4サイズ用の紙に印刷したものを使用してください。全2枚)

注：新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた活動に参加できず、その結果を高等学校等の諸活動の実績や成績として記載できないことがあれば、[こちら](#)から書類をダウンロードし、本人自筆で作成し、提出してください。

ホスピタリティAO入試

(あじばこ)内(あじばこプラス)に過去3年分の過去問題を掲載しています。

募集人員	経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科…53名				
求める学生像	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホスピタリティ・ビジネスに深い興味・関心を持つ者 2. 将来ホスピタリティ・ビジネスに従事したいという明確な目的意識を持つ者 3. 学修意欲、探究心、チャレンジ精神、自発性、協調性のある者 4. 人に接することが好きである者 <p>※なお、ここでいうホスピタリティ・ビジネスとは、ホテルビジネス、プライダルビジネス、フードサービスビジネス、トラベルビジネス、バスセンジャーサービスビジネス、スポーツビジネスをいう</p>				
出願資格	<p>●次のいずれかの条件に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、および令和6年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および令和6年3月までに修了見込みの者 (3)文部科学大臣が認定した在外教育施設の課程を修了した者、および令和6年3月までに修了見込みの者 				
選抜方法	<p>●1次審査 (1)理解カテスト(新聞記事の内容理解) 100点(60分) (2)書類審査 以上(1)(2)の総合評価により、合否を判定する</p> <p>●2次審査 1次審査合格者を対象として11月18日(土)・11月19日(日)両日審査する (1)面接(11月18日(土): 集団討論 11月19日(日): 集団面接)</p>				
出願期間	令和5年9月25日(月)～10月3日(火) ※出願書類の郵送は締切日消印有効				
入学検定料	32,000円(16～18ページを参照し、出願期間内に納入してください)				
試験日	<p>●1次審査 令和5年10月22日(日)</p> <p>●2次審査(1次審査合格者を対象) 令和5年11月18日(土)・11月19日(日)両日</p>				
試験時間割	<table border="1"> <thead> <tr> <th>集合</th> <th>理解カテスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:15</td> <td>9:30～10:30</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈1次審査〉10月22日(日)</p> <p>※2次審査(11月18日・19日両日)の集合時間は1次審査合格者に直接連絡します</p>	集合	理解カテスト	9:15	9:30～10:30
集合	理解カテスト				
9:15	9:30～10:30				
試験会場	本学(1次審査・2次審査とも)				
合格発表	<p>●1次審査 令和5年11月1日(水)(22ページ参照)</p> <p>●2次審査 令和5年11月28日(火)(22ページ参照)</p>				
出願書類					
ネット出願確認票	16～17ページを参照して、ネット出願登録後、必ず印刷をしてください。				
調査書	高等学校長が作成したものを提出してください。※必ず厳封されたものを提出してください。				
ホスピタリティAO入試 ・ホスピタリティ入試 エッセイ記入用紙	「志望動機と将来設計」を1,000字以内で本人自筆で作成し、提出してください。 (左記の出願書類名からダウンロードし、A4サイズの用紙に印刷したものを使用してください。全2枚)				

ホスピタリティ入試

〈あじばこ〉内〈あじばこプラス〉に過去3年分の過去問題を掲載しています。

募集人員

経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科…15名

求める学生像

ホスピタリティ・ビジネスのマネジメントに対する興味・関心を持ち、大学での勉学等に励む意欲のある者
※なお、ここでいうホスピタリティ・ビジネスとは、ホテルビジネス、ブライダルビジネス、フードサービスビジネス、
トラベルビジネス、パッセンジャーサービスビジネス、スポーツビジネスをいう

出願資格

●次のいずれかの条件に該当する者

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、および令和6年3月までに卒業見込みの者
- (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および令和6年3月までに修了見込みの者
- (3)文部科学大臣が認定した在外教育施設の課程を修了した者、および令和6年3月までに修了見込みの者

選抜方法

- (1)作文(400字以内、30分)
 - (2)面接
 - (3)課題レポート(3,000字以内)
 - (4)書類審査
- 以上(1)～(4)の総合評価により、合否を判定する
※(3)は出願書類提出時に提出するものとする

出願期間

令和5年10月19日(木)～10月26日(木) ※出願書類の郵送は締切日消印有効

入学検定料

32,000円(16～18ページを参照し、出願期間内に納入してください)

試験日

令和5年11月18日(土)

試験時間割

集合	▶	作文	▶	面接
12:30		13:00～13:30		13:45～

試験会場

本学

合格発表

令和5年11月28日(火)(22ページ参照)

出願書類

ネット出願確認票

16～17ページを参照して、ネット出願登録後、必ず印刷をしてください。

調査書

高等学校長が作成したものを提出してください。
※必ず厳封されたものを提出してください。

ホスピタリティAO入試 ・ホスピタリティ入試 エッセイ記入用紙

「志望動機と将来設計」を本人自筆で1,000字以内で作成したものを提出してください。
(左記の出願書類名からダウンロードし、A4サイズの用紙に印刷したものを使用してください。全2枚)

課題レポート

4題のうち1題を選び本人自筆で3,000字以内で作成したものを提出してください。
(左記の出願書類名からダウンロードし、A4サイズの用紙に印刷したものを使用してください。全4枚)

グローバル人材育成入試

(あじばこ)内(あじばこプラス)に過去3年分の過去問題を掲載しています。

募集人員

経営学部	ホスピタリティ・マネジメント学科	3名
国際関係学部	国際関係学科	4名
国際関係学部	多文化コミュニケーション学科	4名
都市創造学部	都市創造学科	若干名

求める学生像

国際社会への強い関心を持ち、将来、アジア太平洋地域を中心に、世界を舞台としてアクティブに活躍する「グローバル人材」となることを強く願っている者

出願資格

●次の条件をすべて満たす者

- (1)令和6年3月高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者
- (2)本学への入学を第1希望とする者
- (3)調査書の全体の学習成績の状況が3.2以上の者
- (4)次のいずれかに該当する者

①調査書の英語の学習成績の状況が4.0以上の者

②次の(a)から(d)のいずれかを取得している者

- (a) 実用英語技能検定 (CSE (CSE2.0)) …… 1950点以上^{※1}
- (b) TOEIC[®] L&R, S&W …… 1150点以上^{※2}
- (c) TOEFL iBT[®] …… 42点以上
- (d) GTEC …… 960点以上^{※3}

*対象とする英語外部試験は令和4年4月以降に受験したもの、かつ、出願期間にスコア提出が間に合うもので、オフィシャルスコアに限る。

※1 実用英語技能検定は2級以上の試験の点数に限る。

※2 TOEIC[®]はS&Wのスコアを2.5倍して合算したスコアとする。

※3 GTECはAdvancedまたはCBTの点数に限る。

選抜方法

(1)小論文 (800字以内、60分)

(2)面接

(3)書類審査 以上(1)~(3)の総合評価により、可否を判定する

出願期間

令和5年9月25日(月)~10月3日(火) ※出願書類の郵送は締切日消印有効

入学検定料

32,000円(16~18ページを参照し、出願期間内に納入してください)

試験日

令和5年10月22日(日)

試験時間割

集合	▶	小論文	▶	面接
9:15		9:30~10:30		10:45~

試験会場

本学

合格発表

令和5年11月1日(水)(22ページ参照)

出願書類

ネット出願確認票	16~17ページを参照して、ネット出願登録後、必ず印刷をしてください。
調査書	高等学校長が作成したものを提出してください。※必ず厳封されたものを提出してください。
グローバル人材育成入試 活動状況等報告書 ^{注1}	出願資格(4)に該当する内容および活動状況等を本人自筆で記入してください。 (左記の出願書類名からダウンロードし、A4サイズの用紙に印刷したものを使用してください。)
自己推薦書	本人自筆で作成したものを提出してください。枚数の制限はありません。 (左記の出願書類名からダウンロードし、A4サイズの用紙に印刷したものを使用してください。全2枚)
各種検定等の証明書	出願資格(4)②で出願する場合は、公的な証明書(オフィシャルスコア)の原本ないしは、そのコピー(コピーの場合は、原本と相違ないことを確認した高等学校長の押印(公印)を要する)をA4サイズで提出してください。

備考

- (1)本入試で合格し入学した者は、原則各学部におかれている海外インターンシップ科目を履修し、海外インターンシップに参加しなければならない。
- (2)海外インターンシップ参加時には参加費の実費(25万円~45万円程度を予定。渡航先により相違)の納入が必要となる。
- (3)次の2条件を全て満たした者には「海外インターンシップ給付金」(30万円を上限とする参加費補助)を給付する。
(条件) ①各学部の海外インターンシップ科目を履修し、この科目の単位を修得すること。
②入学後3年以内にTOEIC[®]Listening & Reading Test 600点以上を取得すること(入学時に取得済みの者はこの条件を満たしたこととする)。

注1:新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた活動に参加できず、その結果を高等学校等の諸活動の実績や成績として記載できないことがあれば、こちらから書類をダウンロードし、本人自筆で作成したものを提出してください。

スポーツ・文化活動入試

募集人員	経営学部 経営学科…………… 10名 経済学部 経済学科…………… 5名 法学部 法律学科…………… 7名 国際関係学部 国際関係学科…………… 若干名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科…………… 若干名 都市創造学部 都市創造学科…………… 若干名
求める学生像	募集するスポーツおよび文化活動の技能に優れた将来性のある者
出願資格	●次の条件をすべて満たす者 (1)原則として、令和6年3月高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者 ただし、高等学校に相当する課程を卒業見込みの者については、出願資格を審査のうえ受験を認めることがある (2)本学への入学を第1希望とする者 (3)調査書の全体の学習成績の状況が2.7以上の者 (4)スポーツ・文化活動団体の指導者の推薦が得られる者 (5)下記種目において、全国規模の大会に出場し活躍した者および将来性のある優秀な者で、入学後、当該活動を継続する者 ただし、応援については高等学校等の当該課外活動を継続し、顕著な活躍と将来性のある優秀な者で、入学後、活動を継続する者 募集種目 ◆スポーツ分野 硬式野球、サッカー、バレーボール、柔道 [以上4種目は男子のみ] 陸上競技(中長距離)、硬式テニス、剣道 [以上3種目は男子、女子] ◆文化活動分野 吹奏楽、応援(チアリーダー部門、演奏部門含む) [以上2種目は男子・女子]
選抜方法	〔第1次〕(1)実技 (2)面接 Ⅰ期は7月下旬から10月下旬、Ⅱ期は11月下旬。ただし、Ⅱ期については、募集しない種目もある。 第1次選抜の詳細については、スポーツ振興センターまで問い合わせてください。TEL:0422-36-4096 〔第2次〕(第1次合格者を対象) (1)小論文(600字以内、60分) (2)面接 (3)書類審査 以上(1)~(3)の総合評価により、合否を判定する。
出願期間	〔Ⅰ期〕令和5年10月23日(月)~10月31日(火) 第1次合格者を対象 〔Ⅱ期〕令和6年1月6日(土)~1月12日(金) ※Ⅰ期・Ⅱ期とも出願書類の郵送は締切日消印有効
入学検定料	32,000円(16~18ページを参照し、出願期間内に納入してください)
試験日	第1次合格者を対象 〔Ⅰ期〕令和5年11月26日(日) 〔Ⅱ期〕令和6年2月5日(月)
試験会場	本学 [Ⅰ期・Ⅱ期とも]
試験時間割 (第2次選抜)	〔Ⅰ期〕 集合 9:15 ▶ 小論文 9:30~10:30 ▶ 面接 10:45~ 〔Ⅱ期〕 集合 9:40 ▶ 小論文 10:00~11:00 ▶ 面接 11:15~ ※Ⅰ期、Ⅱ期で集合時刻が異なりますので、注意してください。
合格発表	〔Ⅰ期〕令和5年12月4日(月)(22ページ参照) 〔Ⅱ期〕令和6年2月12日(月・祝)(22ページ参照)
出願書類	第1次合格者のみ、次の書類を提出してください。
ネット出願確認票	16~17ページを参照して、ネット出願登録後、必ず印刷をしてください。
調査書	高等学校長が作成したものを提出してください。※必ず厳封されたものを提出してください。
推薦書	スポーツ団体、文化活動の団体の指導者が作成したものを提出してください。(用紙は本学所定の〈スポーツ・文化活動入試用〉を使用してください) ※必ず厳封されたものを提出してください。

出願・受験について

出願について

本学はネット出願を導入しています。詳しい出願方法は[次ページのネット出願申し込み手順](#)で確認してください。

注意事項

- (1)出願期間は入試形態ごとに異なりますので、[6ページ](#)の入試日程一覧や各入試形態のページでしっかりと確認してください。
出願期間を過ぎた出願書類は受け付けできません。
- (2)出願はインターネットでの出願登録、入学検定料の納入および出願書類の郵送をもって完了となります。
- (3)入学検定料は出願登録完了後に通知される支払期限内に支払いを済ませてください。支払期限内に支払いがない場合は、登録した出願情報が無効になります。
- (4)入学検定料を納入しなかったり、出願手続に不備がある場合には受験できなくなることがありますので注意してください。
入学検定料の納入状況や出願書類の大学への到着状況は、〈あじばこ〉の [出願内容の確認・受験票の印刷](#) ボタンから確認できます。
- (5)出願が完了した後は入試形態、学部・学科の変更は認めませんので、出願登録の際にしっかりと確認してください。
- (6)一旦受理した出願書類及び入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、次の①～③に該当する場合は入学検定料を返還します。
 - ① 入学検定料を納入したが出願書類を提出しなかった場合
 - ② 出願資格を満たさず、出願が受理されなかった場合
 - ③ 納入するべき入学検定料より過剰に納入した場合返還手続き方法や手続期限についての詳細は[コチラ](#)をご確認ください。
- (7)受験票は、オンラインで発行します。[20ページ](#)を参照してください。
- (8)受験の際、特別な配慮を必要とする場合は[19ページ](#)を参照してください。
- (9)出願後に転居などのために住所を変更した場合は、必ず入試部 アドミッションセンターに連絡したうえで、最寄りの郵便局に「転居届」を提出してください。
また、連絡先電話番号を変更した場合も、必ず入試部 アドミッションセンターに連絡してください。
- (10)インターネット環境がない志願者の方は、高等学校・図書館等のパソコンを使用してください。周辺にも環境がない方は入試部 アドミッションセンター（TEL 0422-36-3273）まで問い合わせてください。

出願書類

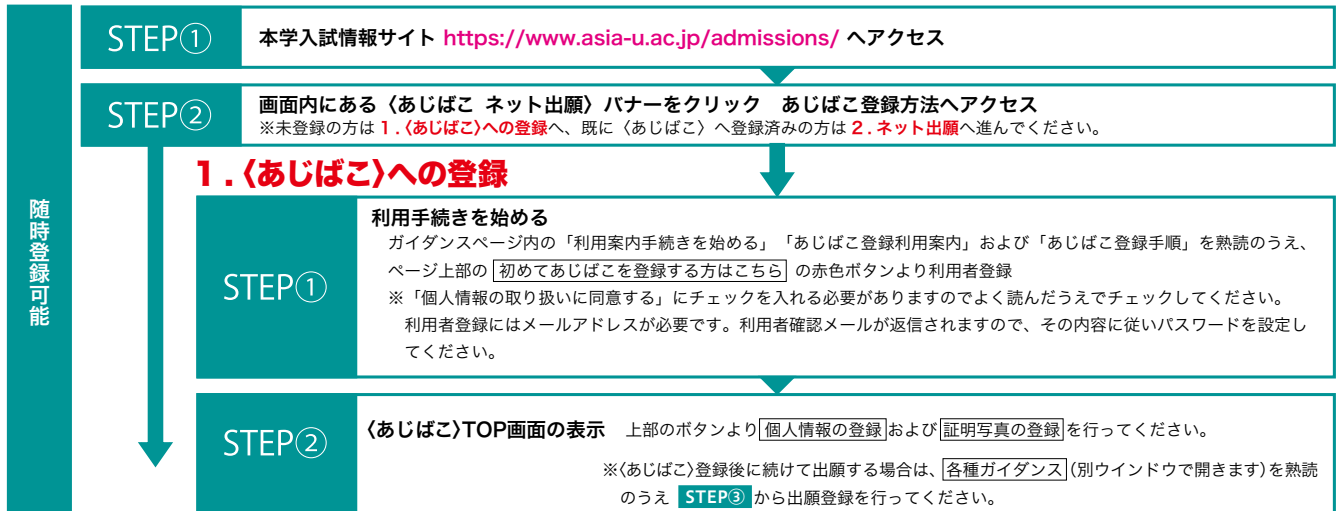
- (1)調査書、推薦書、高等学校卒業程度認定試験合格成績証明書など、出願資格を証明する書類は厳封されたものを提出してください。
- (2)(1)の書類について令和5年9月～11月の期間に出願する場合には、[令和5年9月以降](#)に作成されたものを、初回の出願時に1通提出してください。令和5年9月～11月の期間内での2回目以降の出願時には提出不要です。
- (3)〈あじばこ〉から印刷する出願書類は全てA4サイズの用紙に印刷してください。
自筆する出願書類については、黒色インクのペン、ボールペンを使用してください。（消えないもの）
- (4)出願登録が完了すると「ネット出願確認票」「ネット出願確認票(控)」「宛名ラベル」のダウンロードが可能となります。A4サイズの用紙に印刷してください。
- (5)印刷した「ネット出願確認票」はその他の出願書類とともに市販の角2封筒に入れ、「宛名ラベル」を封筒の表面に貼り付けて「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。窓口受付は行いません。

ネット出願申し込み手順

出願の流れ

出願をするためには〈あじばこ〉への登録が必要となります。下記手順に従って手続きを進めてください。

はじめに



随時登録可能

2. ネット出願



出願時に登録可能

出願期間に入学検定料の支払い・
出願書類の郵送
※締切日消印有効

出願完了

入学検定料の支払い方法

詳しい支払い方法の確認や支払いは、ネット出願登録後の登録完了画面や、〈あじばこ〉TOP画面の 出願内容の確認、受験票の印刷 から行えます。

Step 1 入学検定料の支払い方法を選択します。

登録完了画面、または申込確認画面より決済代行業者の専用サイトへ移動し、支払い方法を選択します。



- クレジットカード
VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club
- ネットバンキング
主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。
ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

Step 2 [お支払い情報]を確認します。

コンビニ・ATMでのお支払いに必要なお支払い情報を取得します。[お支払い情報]は、必ずメモを取るか印刷してください。

- コンビニ：コンビニ名を選択した後、[お支払い情報]取得ボタンを押してください。



- ATM（ペイジー）：画面表示に従い、[お支払い情報]取得ボタンを押してください。



Step 3 選択した支払い方法で入学検定料を支払います。

Step2で取得した[お支払い情報]を持参し、コンビニ（レジ、設置端末）・銀行ATMにて入学検定料を支払います。コンビニ・ATMでのお支払いの流れは以下のURLから参照してください。領収書は必ず受け取ってください。

コンビニでのお支払いの流れ

https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/cvs/



銀行ATM（ペイジー）でのお支払いの流れ

https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/atm_pay-easy/



サービス利用料について

入学検定料のほかに、サービス利用料が必要です。登録時に確認してください。複数回登録する場合、サービス利用料がそれぞれ必要となります。

受験の際特別な配慮を必要とする場合

下表に該当する志願者は、出願1か月前までに必ず入試部 アドミッションセンターへ連絡してください。

区分	特別措置の対象となる者
(1) 視覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
(2) 聴覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 補聴器又は人工内耳の装用が必要な者 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
(3) 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障害が著しい者 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
(4) 病弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
(5) 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> 学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
(6) その他	<ul style="list-style-type: none"> (1)～(5)の区分以外の者で配慮を必要とする者(車椅子等の使用が必要な者等)

入試部 アドミッションセンター TEL：0422-36-3273

受験票について

受験票はオンラインで発行します。大学から送付いたしません。下記を確認のうえ、受験票を取得してください。

受験票の発行と試験当日の持参について

受験票は大学での出願書類確認後、受験する入試形態ごとにそれぞれ1枚ずつ発行します。

〈あじばこ〉(<https://exam-entry.52school.com/asia-u/mp/session/create>) にログイン後、出願内容の確認、受験票の印刷を選択し、A4サイズの用紙に印刷のうえ、試験当日に持参してください。(カラー・白黒は問いません) 当日受験する入試形態を確認のうえ、該当の受験票を必ず持参してください。

※試験当日の3日前までに確認できない場合は、入試部 アドミッションセンターまで問い合わせてください。



あじばこはこちら

受験上の注意

- (1)試験当日の試験場の開門時刻は午前8時30分です。
- (2)試験開始の前に出欠確認を行いますので、集合時刻までに所定の席に着席してください。
- (3)試験当日は、出願時のネット出願確認票の写真と同様の容姿(髪型・眼鏡等)で受験してください。
- (4)上履きは必要ありません。
- (5)ホスピタリティ AO入試の理解力テストの解答方法はマークシート方式です。試験当日は黒鉛筆(削ったもの数本)とプラスチック製の消しゴムを必ず持参のうえ、使用してください。
- (6)辞書付時計、英文の印刷されている衣服や文房具類等は使用できません。
- (7)受験時の試験室は、試験当日に試験場で確認してください。
- (8)駐車場はありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。
- (9)大学・駅周辺において、チラシ配布などの勧誘業者がいる場合がありますが、本学とは一切関係ありません。

試験時間中の注意事項

- (1)試験時間中は監督者の指示に従ってください。
- (2)試験時間中の途中退室は認めません。試験時間中の発病またはトイレ等やむを得ない場合には挙手をして監督者の指示に従ってください。なお、一時退室した場合でも試験時間の延長は認めません。
- (3)監督者の指示が聞き取れないことがありますので、「耳せん」は使用できません。
- (4)携帯電話等は、試験室に入る前に必ずアラーム設定を解除して電源を切って、かばん等に入れてください。携帯電話、時計等の機器が音(着信・アラーム・振動音など)を発した場合、持ち主の同意なく監督者が該当機器やそれが入っているかばん等を試験室の外に持ち出し、試験本部で保管することがあります。また、これらの音は不正行為とみなされることがあります。
- (5)文字や地図がプリントされている衣服は着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。
- (6)試験時間中に日常生活騒音等(監督者の巡視による足音、監督業務に必要な打ち合わせなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置は講じません。
- (7)試験時間中に机の上に置けるものは以下の通りです。これ以外のものは置くことができません。

受験票 黒鉛筆 (HB) シャープペンシル (芯ケース除く) プラスチック消しゴム 鉛筆削り (電動・大型・ナイフ類除く)	時計※ 眼鏡 目薬 ハンカチ (無地) ハンドタオル (無地) ティッシュペーパー (袋から取り出したもの)
---	---

●座布団、ひざ掛けについては、監督者に申し出のうえ、許可を受けて使用することができます(監督者が確認の結果、使用できない場合があります)。なお、座布団、ひざ掛けは無地のものに限りです。

※時計は腕時計型端末等の通信機能があるもの、辞書や電卓等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。

不正行為について

受験に際して、以下に例示した行為をすると、不正行為となることがあります。不正行為となった場合には、当日の入学試験の全教科に加え、出願した本学の本年度入学試験すべての教科の得点を無効とし、それ以後の受験もできません。また、既に合格した本学の入学試験がある場合、合格を取り消します。この場合も入学検定料の返還は行いません。

- (1)カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- (2)使用を認められていない用具を使用すること。
- (3)解答開始の指示の前に、問題冊子を開くなど問題を見るような行為や、解答を始めること。
- (4)解答終了の指示に従わず、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
- (5)試験時間中に、答えを教える等の他の受験者を利するような行為をすること。
- (6)試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末や携帯音楽プレーヤー、イヤホン等を身に付けていたり、かばん等にしまわないこと。
- (7)試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、時計、携帯音楽プレーヤー等の音（着信、アラーム、振動音等）を鳴動させるなど、試験の進行に影響を与えること。
- (8)試験時間中に、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (9)試験室において、試験監督者、係員等の指示に従わないこと。
- (10)試験室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (11)志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- (12)試験終了後、解答用紙を提出しないこと。
- (13)その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

試験当日に交通機関の乱れが生じている場合について

試験当日、雪などの天候不良や事故、地震などの影響により、交通機関に乱れが生じている場合でも、まずは試験場に向かってください。試験場への主要交通機関の遅延などにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないと大学が判断した場合には、試験開始時刻を繰り下げることがあります。詳細については、対応が決定次第、〈あじばこ〉に随時掲載しますので、各自で確認してください。

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症への対応について

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等に感染する恐れがあるため、受験をご遠慮願います。当該理由により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の措置や入学検定料の返還は行いません。

合否結果の確認

各入試の合否結果は、〈あじばこ〉での確認となります。インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等で確認できます。

〈あじばこ〉にログイン後、画面の指示に従い、必ず確認してください。

画面での合格確認ができましたら、入学手続きへ進んでください。

合格者には合格通知書を出願登録時の住所へ合格発表日に速達で発送しますが、合格発表日は必ずしも受験生の手元に合格通知が到着する日ではありません。

なお、不合格通知は送付しません。

利用上の注意

- 本システムの「誤操作」「見間違い」「見逃し」などを理由とした入学手続き期間終了後の入学手続きは認めません。
- 合格発表直後はアクセスが集中することが予想され、一時的に本システムにつながりにくくなる場合があります。
- 本学への合否結果等に関する問い合わせには応じられません。受験生以外の方が本システムを利用する場合は、必要事項をあらかじめ本人に確認のうえ、利用してください。

本学ホームページ「受験生の方へ 入試案内」から
〈あじばこ〉へログインし、**合格発表**を選択
<https://exam-entry.52school.com/asia-u/mp/session/create>



合格発表	
総合型選抜入試	11月1日(水)9:00～
ホスピタリティAO入試 1次審査	
グローバル人材育成入試	
ホスピタリティ入試	11月28日(火)9:00～
ホスピタリティAO入試 2次審査	
公募推薦入試	12月4日(月)9:00～
スポーツ・文化活動入試 I期	
スポーツ・文化活動入試 II期	2月12日(月・祝)9:00～

入学手続きについて

入学手続

合格者は入学手続期間内に〈あじばこ〉内の「入学の手引き」で手続方法を確認のうえ、入学手続を行ってください。
また、入学手続の際に使用する、学校納入金の振込用紙は送付いたしません。決められた期間内に〈あじばこ〉からダウンロード・印刷をし、銀行窓口等で納入手続を行ってください。
入学手続期間は入試形態によって異なりますので、[6ページ](#)の入試日程一覧をご覧ください。

入学前課題について

11月上旬から12月上旬までに合格が決まる学校推薦型選抜・総合型選抜での入学予定者を対象に、大学生活をより順調にスタートしていただくために各種の入学前教育を実施しています。
学部学科毎に、英語や国語、数学などの基礎学習やレポートなどの課題が用意されています。
入学前課題の詳細は、入学手続きの際にお知らせします。

入学辞退

入学手続後に入学を辞退する場合、入学辞退期間に辞退手続をした方に対し、入学金を除いた学校納入金を返還します。

●入学辞退期間 令和6年3月15日(金)～3月31日(日)

ただし、次の入学試験においては、学校長の推薦もしくは本学への入学を第一希望とする出願条件のため該当しません。
〔公募推薦入試、グローバル人材育成入試、スポーツ・文化活動入試Ⅰ期・Ⅱ期〕

初年度学校納入金 [予定]

※金額は予定額であり、変更となる場合があります。
令和6年度学校納入金は、9月中旬に決定します。

(単位：円)

種別		学部	経営学部	経済学部	法学部	国際関係学部	都市創造学部
入	学	金	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000
授	業	春学期	380,000	380,000	380,000	400,000	400,000
		秋学期	380,000	380,000	380,000	400,000	400,000
施	設	春学期	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
		秋学期	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
学	友	入会金	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		会費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
学	生	入会金	500	500	500	500	500
		組合費	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
同窓会		終身会費積立金	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
後		援	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
合	計	春学期	771,000	771,000	771,000	791,000	791,000
		秋学期	510,000	510,000	510,000	530,000	530,000
	年	額	1,281,000	1,281,000	1,281,000	1,321,000	1,321,000

●留学にかかる費用

亜細亜大学アメリカプログラム(AUAP)、亜細亜大学アジアンスタディーズプログラム(AUASP)、亜細亜大学グローバルプログラム(AUGP)、亜細亜大学アジア夢カレッジキャリア開発中国プログラム(AUCP)に参加する学生は、学校納入金の他に、留学費用を出発前までに別途納入していただきます。

- ・AUAPは、本学独自の約5か月間のアメリカ留学プログラムです。
 - ・AUASPは、選抜型の約5か月間のマレーシア留学プログラムです。
 - ・AUGPは、春季・夏季の休暇を利用した単位認定型短期留学プログラムです。
 - ・アジア夢カレッジプログラム受講生は、AUCPでの中国留学が必須となります。
- 国際関係学部国際関係学科は在学中にAUAP・AUASP・AUCPのいずれかのプログラムに参加することが必須です。

- [AUAP] \$12,000～\$15,000(目安) ※留学先によって異なります。
※上記の他に、往復渡航費用、ビザ取得費用、海外旅行傷害保険費用など国内経費(約50万円:目安)が別途かかります。
- [AUASP] 125万円～150万円(目安)
- [AUGP] 32万円～83万円(目安) ※留学先によって異なります。
- [AUCP] 59万円(令和元年度実績額。令和2年度～令和5年度は渡航しての留学を実施せず)
※現地経費および国内経費の高騰などにより相当額の値上がりが見込まれます。

参加費用は、現地経費および国内経費の高騰などにより、変更が生じる場合がありますので、詳細については大学ホームページ(<https://www.asia-u.ac.jp/international>)にてご確認ください。

※AUAP、AUASP、AUCPに参加する学生で、所定の語学試験の成績が優秀な学生に対して奨学金を支給する制度があります。

※AUAPに参加する学生で、学業成績が優秀な学生に対して奨学金を支給する制度があります。

※AUAPおよびAUASPは、東急カードによる最大36回までの分割払い(低金利)が可能です。(条件あり)

都市創造学部の留学について

都市創造学部は約5か月間の海外留学+海外就業体験が必須です。留学先は中国・韓国・インドネシア・タイ・ベトナム・アメリカです。(アメリカは一定の英語力が条件となります)

留学にあたっては、学校納入金の他に留学費用を出発前までに別途納入していただきます。留学費用は行き先によって異なりますが、アジア各国は、110～120万円程度です。アメリカはAUAPに準じて留学費用を決定し、別途海外インターシップの費用約40万円を予定しています。(為替や物価等により変動します)

都市創造学部の留学には、日本学生支援機構(JASSO)から留学支援の給付型奨学金が1年次に所定の成績を収めた一定数(年度によって変動)の学生に支給されます。

●オリコ提携教育ローン

本学は、株式会社オリエントコーポレーションと提携し、提携教育ローン「学費サポートプラン」を導入しております。詳細は、オリコ学費サポートデスク(下記に記載)に直接問い合わせてください。

【融資額】	10万円以上500万円以下	【分割手数料率】	2.5%(固定) ※令和6年1月から3.0%に変更予定
【お問い合わせ先】	オリコ学費サポートデスク 0120-517-325 (平日 9:30～17:30)		

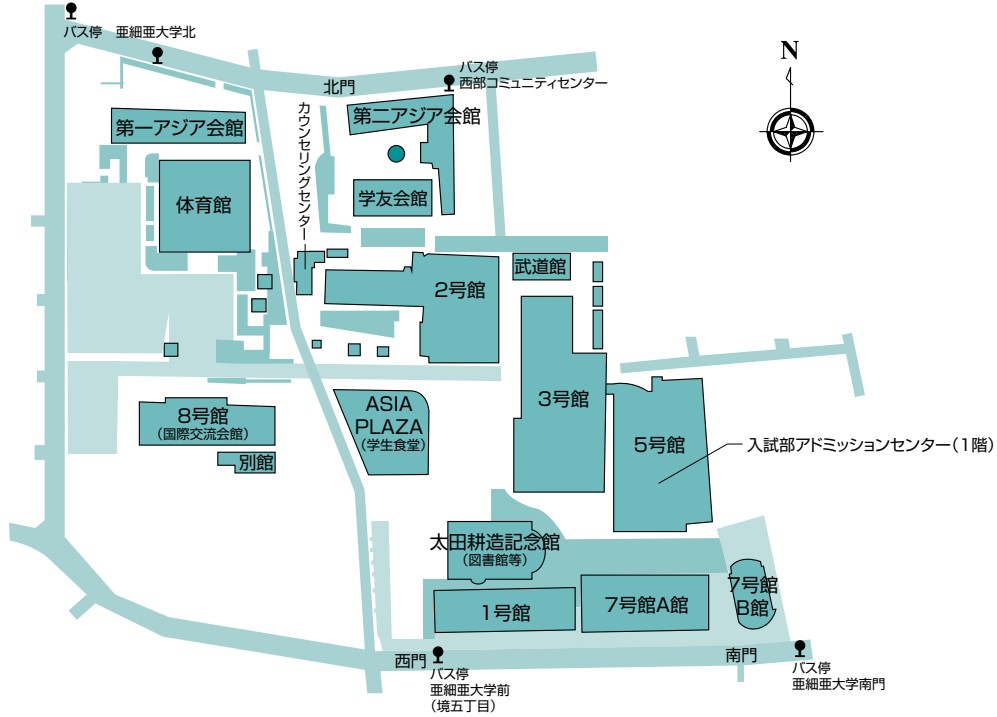
●国の教育ローン

日本政策金融公庫の「国の教育ローン」は、教育に必要な資金(入学金、授業料、教科書代、家賃、融資条件を満たす留学費用など)を融資する公的な制度です。詳細は教育ローンコールセンター(下記に記載)に直接お問い合わせください。

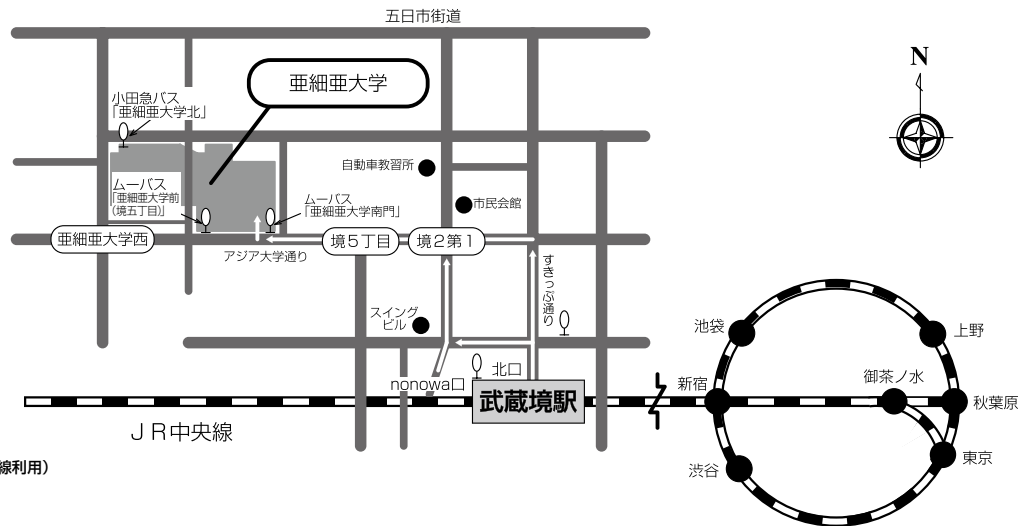
【融資額】	学生・生徒1人あたり350万円以内	【利率】	年1.95%(令和5年5月30日現在)
【お問い合わせ先】	日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター 0570-008656(ナビダイヤル) 03-5321-8656 https://www.jfc.go.jp/ 平日 9:00～19:00		

試験会場・アクセス

本学(武蔵野キャンパス)案内図



アクセス



交通案内

武蔵境駅まで

- 東京駅から約32分(JR中央線利用)
- 新宿駅から約19分(JR中央線利用)
- 大宮駅から約45分(JR埼京線・JR中央線利用)
- 千葉駅から約67分(JR総武線・JR中央線利用)
- 羽田空港から約64分(東京モノレール・JR山手線・JR中央線利用)
- 西武新宿線「田無駅」から約15分
(西武バス「武蔵境駅」行利用「武蔵境駅」(終点)下車)

※乗り換え時間は含まれていません。

武蔵境駅からキャンパスまで

- 北口またはnonowa口から徒歩12分
- 北口駅前よりコミュニティバス(ムーバス)で「亜細亜大学前(境五丁目)」または「亜細亜大学南門」下車、徒歩0分
- 北口駅前より小田急バス「団地上水端」行で「亜細亜大学北」下車、徒歩1分

※駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。

Q&A

	Q	A
出願登録	自宅にパソコンやスマートフォン等インターネット環境がない場合は、どうすればいいですか？	自宅以外（学校・図書館等）のパソコンを使用して出願登録してください。
	プリンターは必要ですか？	各入試形態で指定している出願書類や、出願登録完了後に郵送が必要となる「ネット出願確認票」や郵送用宛名ラベル、試験当日に持参いただく「受験票」などを印刷するために必要です。プリンターがない場合は、自宅以外（学校・図書館・最寄りのコンビニエンスストア等）の使用環境を確認してください。
	いつから出願登録ができますか？	各入試形態で設定されている出願期間内に出願登録ができるようになります。（出願開始日は午前9時から）出願登録には、事前に個人情報の登録と、顔写真データのアップロードが必要です。
	本人以外の者が出願登録することはできますか？	本人以外の方が出願登録をすることは可能ですが、必ず本人の個人情報が登録されている（あじばこ）から出願してください。また、出願内容は必ず本人と確認してください。出願手続完了後の変更は認めません。
	〈あじばこ〉での出願登録のみで出願は完了しますか？	〈あじばこ〉での出願登録のみでは出願は完了しません。出願登録後、入学検定料の支払いと出願書類の郵送をもって出願手続は完了します。
	出願登録後、入学検定料の支払いと出願書類の郵送はどちらを先に行ってもいいですか？	構いません。出願期間内に全ての手続を完了できるよう、時間に余裕をもって行ってください。
	出願登録後に出願内容（入試形態・出願学部）に誤りがあることに気が付きました。どのようにすればいいですか？	①出願期間内、入学検定料支払い前、出願書類発送前の場合 改めて出願登録を行うことにより、誤った出願内容は無効となり、出願することができます。正しい出願内容で出願した整理番号の「ネット出願確認票」を出願書類として郵送してください。入学検定料のお支払いも同様です。 ②出願期間内、入学検定料支払い前、出願書類発送後の場合 改めて出願登録を行い、正しい出願内容の「ネット出願確認票」を再度郵送してください。入学検定料のお支払いについては、必ず正しい出願内容の整理番号から入金手続きをしてください。そのうえで、入試部 アドミッションセンターへ連絡してください。 ③出願期間内、入学検定料支払い済み、出願書類発送前もしくは発送後の場合 至急、入試部 アドミッションセンターへ連絡してください。 ④出願期間終了後 変更は一切認めません。
	出願登録後に出願内容（個人情報・顔写真データ）に誤りがあることに気が付きました。どのようにすればいいですか？	①出願期間内、入学検定料支払い前、出願書類発送前の場合 〈あじばこ〉の個人情報もしくは顔写真データを修正し、改めて出願登録してください。正しい出願内容で出願した整理番号の「ネット出願確認票」を出願書類として郵送してください。入学検定料の入金も同様です。 ②出願期間内、入学検定料支払い前、出願書類発送後 ①の手続きの後、入試部 アドミッションセンターへ連絡してください。 ③出願期間内、支払い済み、出願書類発送前もしくは発送後の場合と、出願期間終了後 至急、入試部 アドミッションセンターへ連絡ください。
	出願登録ができていないか確認はできますか？	〈あじばこ〉の「出願内容の確認・受験票の印刷」メニューより、確認してください。入学検定料の納入状況や出願書類の到着状況確認ができます。
	ホスピタリティ AO 入試の2次審査とホスピタリティ入試の試験日が同一の日程ですが、併願はできますか？	併願できます。ホスピタリティ AO 入試の2次審査を午前、ホスピタリティ入試の試験を午後を実施します。
出願書類	複数の入試形態・学部学科に出願する場合、調査書はその都度郵送する必要がありますか？	学校推薦型選抜と総合型選抜で出願する場合には、令和5年9月以降に作成されたものを、初回の出願時に1通提出してください。2回目以降の出願の際には提出は不要です。 ※学校推薦型選抜・総合型選抜と一般選抜を受ける場合には、学校推薦型選抜・総合型選抜の初回出願時に1通、一般選抜の初回出願時に1通、それぞれ提出が必要となります。
	出力用紙のサイズ指定はありますか？	出願書類は全て A4 サイズの用紙に印刷してください。自筆する出願書類については、黒色インクのペン、ボールペンを使用してください。（消えないもの）
	出願書類は、白黒印刷でもいいですか？	構いません。
	出願書類を送った後、到着した確認の連絡はありますか？	大学から出願書類到着の連絡はしません。〈あじばこ〉の「出願内容の確認・受験票の印刷」メニューから確認することができます。また、簡易書留の問合せ番号で、郵便局のホームページから追跡サービスを利用して確認することもできますので、あわせて利用してください。
	出願書類を大学の窓口に直接持参してもいいですか？	窓口での出願は受け付けておりません。出願期間内に必ず「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。（締切日消印有効）
受験票	受験票は、郵送で送られてきますか？	受験票は、本学から郵送はしません。〈あじばこ〉の「出願内容の確認・受験票の印刷」メニューから印刷できます。A4 サイズの用紙に印刷して、試験当日に必ず持参してください。
	受験票は、いつから印刷できますか？	本学での、出願書類および入学検定料の確認完了後に印刷ができるようになります。※試験当日の3日前までに確認できない場合は入試部 アドミッションセンターへ問い合わせてください。
	受験票は、白黒印刷でもいいですか？	構いません。
試験当日	試験当日、上履きの持参は必要ですか？	上履きはありません。
	私服での受験は可能ですか？	可能です。ただし、英文字や地図等がプリントされている衣服等は着用しないでください。
	電車が遅れてしまった場合はどうすればよいですか？	まずは試験場に向かってください。試験開始時間を繰り下げるなどの対応が決まり次第、〈あじばこ〉に随時掲載しますので、必ず確認してください。
	付添者の控え室はありますか？	付添者の控え室はありません。受験者の付き添いが必要な場合は、事前に入試部 アドミッションセンターへ連絡してください。
試験当日は昼食場所はありますか？	原則、昼食会場はありません。必要な方は自席でお取りください。	

問い合わせ先 入試部 アドミッションセンター TEL:0422-36-3273